

平野植民地入植 100 周年記念式典

8月2日、中前総領事はサンパウロ州カフェランジア市の平野植民地入植百周年記念式典に出席しました。

平野植民地は、1915 年、平野運平氏の指導の下、自ら開拓を志した人々が原野を切り拓いて作ったものですが、多くの犠牲も伴った、初期の日本人移民史における象徴的な移住地です。

詳しくはこちら: http://www.ndl.go.jp/brasil/s3/s3_1.html

中前総領事はあいさつの中で、今日のブラジルで日系社会や日本が享受する信頼や尊敬の基礎には平野植民地などで労苦を重ねた先人の歴史の礎があることを思い起こしこれに感謝しつつ、今年外交関係樹立 120 周年を迎えた日伯両国関係の一層の強化に努力したいと述べました。

中前総領事挨拶

この度、平野植民地入植100周年記念式典にあたり、ご挨拶申し上げます。

先ほど先没追悼法要において、皆様方と共に、平野運平(ひらの うんぺい)氏および同氏と共にこの地に眠る多くの先人の遺徳を偲び、そのご冥福をお祈り致しました。ここに改めて、衷心より哀悼の意を表します。

本年は日ブラジル外交関係樹立120周年として、各地で記念行事が開催されております。そして1908年に笠戸丸移民がサントス港に入港以来、107年が経ちました。この間約26万人の日本人がこのブラジルの地に渡り、多大な努力を重ねながら働いてこられ、立派な子弟を育て上げられました。勤勉、誠実といった日本人が大切に思う美德を実践し、ブラジルの社会で大きな尊敬と確固たる信頼を獲得しておられます。

平野植民地は初期日本人移住者の夢が実現した移住地であり、その実現に奔走した平野運平氏、またこの移住地における多くの開拓先駆者の皆様方の大いなる志に心より敬意を表したいと思います。

また、その陰に悲しい歴史があったことは、大変心痛ましく残念な出来事でありました。その立ちどころな苦難に対し、皆様方は持てる力を結集し、団結して乗り越え、道を切り開いてこられました。また、その間、皆様は今日まで百年にわたり、先人の労苦を思い追悼の誠を捧げること続けてこられました。これは当地日系社会の皆様の高いお志の現れであり、私は一人の日本人として、これを大変誇らしく思うとともに、深甚なる感謝と敬意を表したいと思います。

本日、100周年記念を迎えられるにあたり、日系社会の発展の嚆矢となり、今日の日系社会の発展と日伯友好に大いなる貢献された平野植民地開拓者の方々に思いを致すことは、誠に意義深いものと考えます。

私達は先達の開拓先没者の方々に対する感謝を忘れず、両国の友好関係増進のため一層努力して参ることを誓いたいと思います。

結びに、改めて平野運平氏、また開拓先没者の方々の御霊に対し心よりご冥福をお祈りすると共に、本日ご臨席の皆様方の益々のご健勝を願い、私の挨拶とさせていただきます。